

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】平成 18 年 9 月 21 日 (2006.9.21)

【公開番号】特開 2005-73887 (P2005-73887A)  
【公開日】平成 17 年 3 月 24 日 (2005.3.24)  
【年通号数】公開・登録公報 2005-012  
【出願番号】特願 2003-307112 (P2003-307112)  
【国際特許分類】

**A 6 1 B 1/00 (2006.01)**

【F I】

A 6 1 B 1/00 3 2 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 8 月 1 日 (2006.8.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検体内の被検部位から被検体内情報を取得する情報取得手段と、  
前記情報取得手段が生成した被検体内情報に関する信号を変調して無線送信する無線手段と、  
前記情報取得手段と前記無線手段とを駆動する駆動電力を蓄積する電源手段と、  
前記被検部位までの距離を検出する検出手段と、  
前記検出手段による検出結果に応じて、前記電源手段から前記無線手段への駆動電力の供給を制御する供給制御手段と、  
を具備したことを特徴とする無線型被検体内情報取得装置。

【請求項 2】

前記被検部位を照明する照明光を発光する照明手段をさらに具備し、  
前記検出手段は、前記照明手段から発光された照明光の前記被検部位からの反射光の光量に基づいて、前記被検部位までの距離を検出することを特徴とする請求項 1 に記載の無線型被検体内情報取得装置。

【請求項 3】

前記供給制御手段は、前記被検部位までの距離があらかじめ設定した所定の値を下回ったことを前記検出手段が検出したことに応じて、前記無線手段への駆動電力の供給を前記電源手段に開始させることを特徴とする請求項 2 に記載の無線型被検体内情報取得装置。

【請求項 4】

前記情報取得手段は、前記照明手段が照明した前記被検部位を撮像して画像信号を生成する撮像手段であることを特徴とする請求項 2 または 3 に記載の無線型被検体内情報取得装置。

【請求項 5】

前記撮像手段は、前記撮像手段から既知の所定の距離だけ離間した位置に配置される被撮像面を撮像し、

前記検出手段は、前記撮像手段が撮像した前記被撮像面の前記撮像手段からの距離に基づいて、前記撮像手段が撮像する前記被検部位までの距離を検出することを特徴とする請求項 4 に記載の無線型被検体内情報取得装置。

【請求項 6】

前記撮像手段は、オートフォーカス部と、前記撮像手段で生成された画像信号に基づいて該オートフォーカス部によるオートフォーカス動作を制御する動作制御手段と、をさらに具備し、

前記検出手段は、前記オートフォーカス部の動作状態に基づいて、前記被検部位までの距離を検出することを特徴とする請求項 1 に記載の無線型被検体内情報取得装置。

【請求項 7】

前記検出手段は、赤外線を用いた距離センサであることを特徴とする請求項 1 に記載の無線型被検体内情報取得装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

また、請求項 6 の発明は、前記撮像手段は、オートフォーカス部と、前記撮像手段で生成された画像信号に基づいて該オートフォーカス部によるオートフォーカス動作を制御する動作制御手段と、をさらに具備し、前記検出手段は、前記オートフォーカス部の動作状態に基づいて、前記被検部位までの距離を検出することを特徴とする。

また、請求項 7 の発明は、前記検出手段は、赤外線を用いた距離センサであることを特徴とする。